

第3回 6月 センター試験本番レベル模試

夏の天王山に向けて、 模試の結果をもとに学習計画を立てよう！

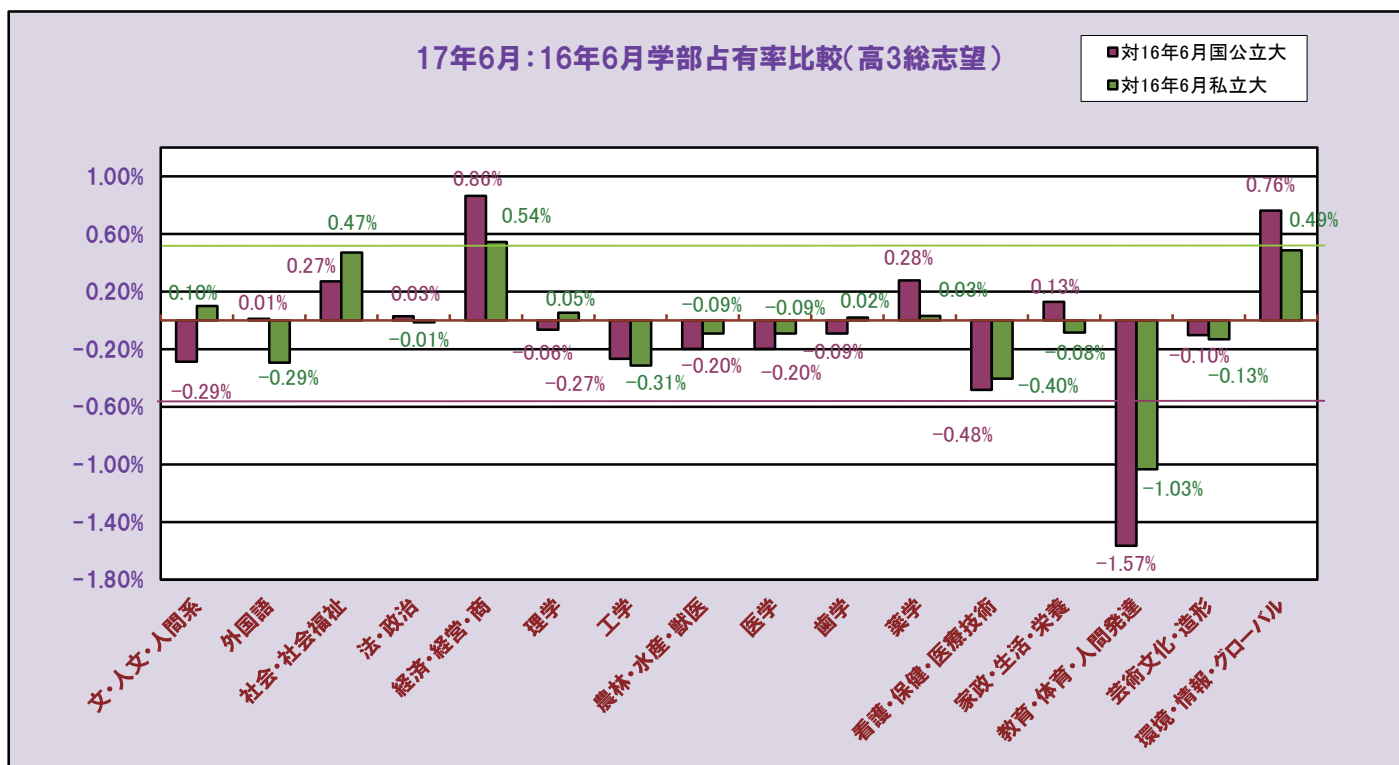
6月25日（日）に実施した「第3回 6月 センター試験本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期に同模試を受験した先輩の志望動向と比較した。

入試本番で実力を出し切るためには、夏の学習がポイントとなる。しっかりと計画を立ててやりきろう。

また、志望校のオープンキャンパスには必ず参加しよう。目標が確固たるものになり、受験勉強に向かうモチベーションもアップするからだ。

暑い夏を熱い気持ちで乗り切ろう！

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	95	101	100
外国語	101	89	92
社会・社会福祉	117	108	110
法・政治	101	100	100
経済・経営・商	109	103	104
理学	99	101	100
工学	103	105	103
農林・水産・獣医	96	89	93
医学	97	95	96
歯学	86	109	94
薬学	109	101	104
看護・保健・医療技術	94	92	93
家政・生活・栄養	112	96	100
教育・体育・人間発達	84	85	84
芸術文化・造形	78	89	88
環境・情報・グローバル	116	107	110

■国公立大

傾向としては、社会科学系の学部系統を中心とする、「文高理低」が今回も継続していることが見て取れる。

また、学部・学科の新設が多い環境・情報・グローバル系の人気も好調を保っている。

一方で、薬学系や家政・生活・栄養系も昨年同時期および前回よりも大幅に志望者が増えている。

■私立大

文系の傾向としては国公立大と同様の動きとなっている。

理系については、国公立大の併願先として、工学系に比較的志望者が集まっているのが特徴。

医学系は定員増や新設ラッシュがひと段落したこともあり、人気も一時期よりは落ち着いてきたといえる。

※このデータは、2017年と2016年の「第3回 6月 センター試験本番レベル模試」について、大学の設置区分（国公立・私立）ごとに学部系統別の総志望者数（統一実施日受験の高3生・第6志望まで）から算出した割合を比較したものである。